

令和5年度 第1回 山形のみちづくり評議会

【議事要旨】

■ 日時・場所

令和5年10月5日（木）14:00～16:30（山形県庁 1001号会議室、WEB併用）

■ 出席委員

柴田会長、貝山委員、森委員、塩原委員、柴田委員、宮原委員、鈴木委員、工藤委員(WEB)、宇留野委員、森田委員、小林委員 11名

■ 議事概要

議題1 令和4年度 道路事業の達成度報告 資料1

（事務局説明）

- ・ 計画に掲げる19指標のうち12指標で進捗が見られた。
 - ・ この度、進捗に変化がなかった指標についても、高規格道路の多くの区間がR8年度までの開通見通しとなっているなど、今後の高規格道路の開通により進捗が見込まれる。
 - ・ 全体的に概ね予定通り取り組みが進捗している。
- ➡令和4年度達成度報告書について委員より意見をいただいた。

議題2 「山形県道路中期計画2028」の見直しについて 資料2

（事務局説明）

- ・ 防災・減災、国土強靱化の取り組みでは、「3か年緊急対策」や「5か年加速化対策」によって、事業期間短縮による対策完了の前倒しが図られている。
 - ・ 令和4年度評議会での意見については、関連する山形県等の動向を踏まえ、施策や計画本文に追記する。
 - ・ 計画策定後に顕在化した課題を再整理し、計画の見直し方針（素案）を提示した。
- ➡山形県道路中期計画2028の見直し方針について委員より意見をいただいた。

■ 令和5年度 第1回 山形のみちづくり評議会における主な意見

各議題について、以下のような意見が挙げられた。

議題1 令和4年度 道路事業の達成度報告

- ・ 防災・減災対策として既に対策を実施した箇所において、対策後も危険性が残る箇所については、重点的な対策の追加を検討することも効果的であるとする。

- ・ 中間目標値、目標値に対する指標の達成状況で、進捗に遅れが見られるものには、どのような要因が関わっているのか、総括と併せて追記した方が県民にとってわかりやすい。
- ・ 東北中央道（東根～尾花沢）の全線開通によって、ミッシングリンクが1つ解消となり、移動時間が大幅に短縮され、利便性の面で効果を実感している。

議題2 「山形県道路中期計画 2028」の見直しについて

(1) 広域道路ネットワークについて

- ・ 国道 47 号は、インバウンド客の増加により、宮城県から来訪する観光客が多く、また、陸羽東線の運行見合わせ時における代替性の視点でも重要性は高い。
- ・ 県の南北方向は移動しやすいが、東西方向の移動は時間がかかり、走行時に危険を感じることもあるため、横軸道路についても整備促進を図ることが重要である。

(2) 観光面・物流面の課題・方向性について

- ・ インバウンド客には歴史の道をたどるツアーが人気で、時間をかけて地域をじっくり巡る人も多いため、観光拠点を繋ぐ歩道整備を進めることも必要と考える。
- ・ 県には魅力的な観光地が多いものの、ネットワーク化されていないことが課題である。
- ・ 2024 年問題が迫る中、物流にとってミッシングリングの解消は必要不可欠であり、安全性と利便性・速達性を確立した道路が求められる。
- ・ 物流の効率化としてダブル連結トラックの検討も進められているが、SA や PA 等における駐車スペースの不足等が課題である。

(3) まちなかにおける道路空間のあり方について

- ・ まちづくりの観点では、歩行空間の活用が重要。県道・市道のネットワークと一体化した歩行空間や歩行者の休憩施設の整備など、街中に来てもらうような施策も必要である。
- ・ 高齢者の移動手段確保と地域活性化の視点では、道路の利便性は多少の低下を容認しつつ、道路空間再配分等により自転車利用を促す等、道路整備以外の取組みも考えられる。
- ・ 街中の身近な移動手段として、新たなモビリティを活用することが考えられるが、必要な幅員が担保される道路があるか、どうやってそれらを創出するかという課題が残されるため、将来的にはそのような検討も重要と考える。

(4) その他

- ・ 温泉熱を活用した融雪設備の整備は好事例であるため、取り組みを拡充してほしい。
- ・ 石巻市、大崎市、新庄市、酒田市が、平成 23 年 4 月に災害援助協定を締結してから時間が経過しているため、実際の緊急時に運用できるかなど、協定の内容を確認しておく必要がある。

以上